

第54回全国高等専門学校体育大会 第53回全国高等専門学校体育大会卓球競技実施要項

1. 主催 一般社団法人全国高等専門学校連合会
2. 主管 全国高等専門学校体育大会卓球競技専門部
鳥取県卓球連盟、米子卓球協会、米子工業高等専門学校
3. 後援 文部科学省、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本卓球協会、
鳥取県、鳥取県教育委員会、米子市、米子市教育委員会、公益財団法人鳥取県体育協会
4. 協賛 日本卓球株式会社（Nittaku）、株式会社VICTAS（TSP）、
株式会社タマス（BUTTERFLY）、（公財）とっとりコンベンションビューロー
5. 大会期日 2019年8月24日（土）、25日（日）
6. 公式練習 2019年8月23日（金）13:00～17:00
7. 会場 鳥取県立米子産業体育館
〒683-0802 鳥取県米子市東福原8丁目27-1 TEL: 0859-35-0611
8. 競技種目
 - (1) 男子団体戦
 - ア. 出場校：各地区代表12チーム
 - ① 北海道（1校） ② 東北（2校） ③ 関東信越（2校）
 - ④ 東海北陸（1校） ⑤ 近畿（1校） ⑥ 中国（1校）
 - ⑦ 四国（1校） ⑧ 九州沖縄（2校） ⑨ 開催校枠（1校）
 - イ. チーム編成（ベンチ入りできる者）
監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、男子選手8名以内の計11名以内
 - (2) 女子団体戦（オープン競技）
 - ア. 出場校：各地区代表9チーム
 - ① 北海道（1校） ② 東北（1校） ③ 関東信越（1校）
 - ④ 東海北陸（1校） ⑤ 近畿（1校） ⑥ 中国（1校）
 - ⑦ 四国（1校） ⑧ 九州沖縄（1校） ⑨ 開催校枠（1校）
 - イ. チーム編成（ベンチ入りできる者）
監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、女子選手8名以内の計11名以内
 - (3) 個人戦
 - ア. 参加選手
 - ① 男子シングルス 各地区代表2名（ただし、北海道1、開催校枠1）計16名
 - ② 男子ダブルス 各地区代表2組（ただし、北海道1、開催校枠1）計16組
 - ③ 女子シングルス 各地区代表2名（ただし、北海道1、開催校枠1）計16名
 - ④ 女子ダブルス 各地区代表2組（ただし、北海道1、開催校枠1）計16組

イ. ベンチ入りできる者

個人戦に登録された監督、コーチ、選手、または団体戦に登録された監督、コーチ、マネージャー、選手の内1名

9. 参加資格

高等専門学校の学生で、（公財）日本卓球協会に本年度登録している者であること。

10. 競技規則

- (1) 現行の日本卓球ルールによる。
- (2) 使用球は、（公財）日本卓球協会公認プラスチック球40 mmホワイトとする。
 - ・ 日本卓球株式会社(Nittaku) プラ3スタープレミアム
 - ・ 株式会社VICTAS(TSP) CP40+スリースターボール
 - ・ 株式会社タマス(BUTTERFLY) スリースターボールA40+
- (3) 選手は、（公財）日本卓球協会指定のゼッケンを背につけなければならない。
- (4) 団体戦及び個人ダブルスは同一の（公財）日本卓球協会公認のウェアを着用する。また、団体戦、個人ダブルス、個人シングルスとも対戦相手とは異色にする。

11. 競技方法

(1) 男子団体戦

ア. 出場チームをA、B、C、Dの各ブロックに分け、ブロック別に予選リーグを行い各ブロックの1位チームによる決勝トーナメント（準決勝の組合せはA対B、C対Dとする）を行う。また予選リーグ各ブロック2位チーム（4チーム）と、決勝トーナメント一回戦敗退チーム（2チーム）で3位決定トーナメントを行う。（組合せは準決勝A対Bの敗者はC対Dの2位チームの勝者と対戦し準決勝C対Dの敗者はA対Bの2位チームの勝者と対戦し各々の勝者を3位とする）

イ. 試合は、4シングルス、1ダブルスの編成とし、3番にダブルスをおき、3点先取で勝敗を決定する。また、1、2番に出場する選手のみでダブルスを組むことはできない。

ウ. シングルス、ダブルスともに11本5ゲームマッチとする。

(2) 女子団体戦（オープン競技）

ア. 出場9チームをA、B、Cの各ブロックに分け、ブロック別に予選リーグを行い各ブロックの1位の3チームによる決勝リーグ、2位チームによる3位決定リーグを行う。1位リーグの上位から優勝、準優勝、3位、及び3位決定リーグの1位チームを同3位とする。（3位決定戦は行わない）

イ. 試合は、4シングルス、1ダブルスの編成とし、3番にダブルスをおき、3点先取で勝敗を決定する。また、1、2番に出場する選手のみでダブルスを組むことはできない。

ウ. シングルス、ダブルスともに11本5ゲームマッチとする。

(3) 個人戦

ア. 出場選手をA、B、C、Dの各ブロックに分け、ブロック別に予選リーグを行い各ブロックの1位選手による決勝トーナメント（準決勝の組合せはA対B、C対Dとする）を行う。また予選リーグ各ブロック2位選手と、決勝トーナメント一回戦敗退選手で3位決定トーナメントを行う。

（組合せは準決勝A対Bの敗者はC対Dの2位選手の勝者と対戦し準決勝C対Dの敗者はA対Bの2位選手の勝者と対戦し各々の勝者を3位とする）

イ. シングルス、ダブルスともに11本5ゲームマッチとする。

12. 組合せ 参加申し込み終了後、主管団体の責任において決定し、その結果を直ちに出場校に通知する。

(1) 男子団体戦

ア. シード4チームを決定する際には次の事項を考慮する。

(a) 前年度本大会ベスト4のチームを上位にシードする。1位は優勝チーム、2位は準優勝チーム、3位は、3位決定戦の勝者で、予選リーグを1位で通過し決勝トーナメントで優勝チームに敗退したチームを上位とする(3位決定戦の勝者2チームが予選リーグ1位と2位通過の場合は予選1位通過が上位、2チームが2位通過の場合は、優勝及び準優勝したチームの予選ブロック順位をそれぞれ1位、2位とし、優勝したチームに敗退したブロックを3位として、そのブロック順位から出場したチームをブロック順位に応じて上位とする)。ただし、該当チームが地区大会で2位以下(ただし、同一地区から入賞校が2校以上ある場合は、地区大会2位でもシードになりうる)又は出場しない場合は、その所属地区の1位チームを前年度の本大会における該当チームの順位に応じて下位に順番にシードする。シード順位はA、D、C、Bの各ブロック順とする。

(b) (a)でも決定できない場合は、出場地区の1位チームから抽選で下位に順次決定する。

イ. 同一地区の代表チームの1位と2位は決勝トーナメントの決勝戦まで対戦しないようにする。(東海北陸地区は、この限りでない。)また、ア. で決定した同一地区のシードチームが決勝戦までに対戦する場合は、C1、B1のシードの入れ替えを行う。)

ウ. 前年度の大会の組合せを考慮する。(予選リーグは、前年度と同じ対戦相手とならないように配慮する。)

(2) 女子団体戦 (オープン競技)

ア. 前年度本大会団体戦上位チームをシードする。1位は優勝チーム、2位は準優勝チーム、3位は準決勝で優勝チームに敗退したチームとしそれぞれA、B、Cブロックにシードする。

イ. シード以外は抽選とする。

(3) 個人戦

ア. シード4個人を決定する際には次の事項を考慮する。

(a) 前年度本大会ベスト4の個人を上位にシードする。1位は優勝個人、2位は準優勝個人、3位は3位決定戦の勝者で、予選リーグを1位で通過し決勝トーナメントで優勝した個人に敗退した個人を上位とする(3位決定戦の勝者の2者が予選リーグ1位と2位通過の場合は予選1位通過が上位、2者が2位通過の場合は、優勝及び準優勝した個人の予選ブロック順位をそれぞれ1位、2位とし、優勝した個人に敗退したブロックを3位として、そのブロック順位から出場した個人をブロック順位に応じて上位とする)。ただし、該当個人が出場しない場合は、その所属地区の1位個人を前年度の該当個人の本大会順位に応じて下位に順番にシードする。なお、シード順位はA1、D1、C1、B1の各ブロック個人番号とする。

(b) (a)で決定できない場合は、出場地区の1位個人から抽選で下位に順次決定する。

(c) ダブルスの場合は、前年度のペアと異なる場合にはシードしない。

- イ. 同一地区の代表個人の1位と2位は、決勝戦まで対戦しないようにする。(東海北陸地区はこの限りではない。また、ア. で決定した同一地区のシード選手が決勝戦までに対戦する場合は、C1、B1のシードの入れ替えを行う)
- ウ. 地区大会の成績を考慮する。
- エ. 前年度の大会の組合せを考慮する。(予選リーグの各ブロックの対戦相手は、前年度と同じ対戦相手とならないように配慮する)

13. 表彰

- (1) 男子団体優勝校には、賞状及び文部科学大臣杯とメダルを授与し、2位、3位チームには賞状及びメダルを授与する。
- (2) 文部科学大臣杯は、男子団体優勝校の持ち回りとする。
- (3) 前年度男子団体優勝校には、文部科学大臣杯受賞章を授与する。
- (4) 女子団体優勝校及び2位、3位には賞状及びメダルを授与する。
- (5) 個人種目は1、2、3位に賞状及びメダルを授与する。
- (6) 功績が特に顕著なチーム、個人に対しては特別に表彰することがある。

14. 選手の変更

- (1) 不慮の事故(ア、イ)による団体戦の選手変更は、大会前日までに変更届を開催校に提出した上で、代表者会議において協議の上認める場合がある。個人戦では変更を認めない。
 - ア. 選手の病気、怪我による入院。(医療機関の診断書又は証明書を添付する)
 - イ. 3親等以内の不幸。(届書を添付する)

15. 監督、コーチ、マネージャーの資格

- (1) 団体戦
 - ア. 出場校の校長が認めた次の者とする。
 - 監督：教員
 - コーチ：教員、職員(非常勤・外部コーチ含む)又は学生
 - マネージャー：教員、職員(非常勤・外部コーチ含む)又は学生
- (2) 個人戦
 - ア. 出場校の校長が認めた次の者とする。
 - 監督：教員
 - コーチ：教員、職員(非常勤・外部コーチ含む)又は学生
 - ※個人戦と団体戦の両方に出場する学校の監督は団体戦と重複してよい。
- (4) ベンチ入りする監督、コーチ、マネージャーは標章を身に付け、選手はゼッケンを身に付ける。

16. 監督、コーチ、マネージャーの変更

- (1) 大会前日までに変更届を開催校に提出し、代表者会議で審判長と競技委員長の承認を必要とする。

17. 競技マナー

- (1) 選手は高専生らしい真摯な態度で試合を行うように努める。
- (2) ポイントごとの間は速やかにプレーに入り、不必要に時間を取らない。
- (3) ベンチや応援団の応援は日本卓球ルールに準拠し、試合進行の妨げにならないように

心がけると同時に、過度に声を発する応援は慎む。

18. 代表者会議 (1) 日時 2019年8月23日(金) 16:00~17:00
(2) 場所 鳥取県立米子産業体育館 中会議室(1階)
〒683-0802 鳥取県米子市東福原8丁目27-1 TEL:0859-35-0611

19. 開会式 2019年8月23日(金) 17:15から競技会場で行う。

20. 閉会式 2019年8月25日(日) 全競技終了後、競技会場で行う。

21. 宿 舎 希望する学校に斡旋する。

22. 参加料及び納入方法

参加料	男子団体戦	1チーム当たり	14,400円
	女子団体戦	登録選手1人当たり	1,800円
	個人戦	選手1人当たり	1,800円

(団体戦登録選手の個人戦参加料は、無料とする。)

参加料は参加申込みと同時に振込口座へ納入すること。なお、既納の参加料は返還しない。

[振込口座]

金融機関名 山陰合同銀行 米子支店
口座種別 普通
口座番号 3856426
口座名 全国卓球競技大会 米子工業高等専門学校
取扱責任者 学生課長 景山 修司
(フリガナ) ゼンコクタツキョウキョウギタイカイ ヨナゴコウギョウコウトウ
センモンガッコウ トリアツカイセキニンシャ ガクセイカチョウ
カゲヤマ シュウジ

23. 参加申込 (1) 申込期限 2019年7月24日(水) (必着とする)
(2) 申込先 〒683-8502鳥取県米子市彦名町4448
米子工業高等専門学校 学生課学生係
TEL 0859-24-5023 FAX 0859-24-5029
(3) 申込方法 各地区の担当校が別途定める参加申込書で申し込むこと。

24. その他 (1) 試合中の負傷については、大会本部で応急処置をするが、その後の処置は各学校及び各自で行うこと。
(2) 健康保険証等は、各自で準備しておくこと。(写は不可)
(3) 独立行政法人日本スポーツ振興センター所定の用紙を各学校で持参すること。
(4) 大会出場者で、ホームページ、報道等に、個人名を公表して欲しくない者は、学校を通して大会事務局(takkyu_zen_2019@yonago-k.ac.jp)に申し出てください。事前に申し出のない場合は、公表します。